蔵王・コガ沢

記　Ｔ野

2018年8月12日
メンバー　：　Ｔ野　Ｎ野　Ｈ本

今年のお盆休みは南会津の銘渓、御神楽沢に行くつもりでした。実際、直前まで天気予報もまあまあで全く疑うことなく楽しい３日間の沢旅に心を馳せていた。ところがである。出発日の8/10夜、気象庁によると「命の危険がある豪雨」が栃木県を中心に北関東～南東北を襲った。何しろ１時間に100㎜以上の豪雨だ。渓はどんな状態になっているのだろう？予報によるとこの不安定な天候はまだしばらく続くようだ。遡行中にこんなのに襲われたらたまったものではない。

不安な気持ちを持ちつつも8/10夜、21:30に集合場所の東川口駅を出発。しかし悪いことは重なるもので東北道は久喜周辺で事故があって大渋滞。6㎞120分だって！！ありえない！！なんとか下道に回避して加須で高速に復帰、その後は順調に走ったがいろいろありすぎて疲れ果ててしまった。本来はもっと先に進むつもりだったが「道の駅しおばら」で撃沈。軽く入山祝いをして仮眠。雨は小降りになっていたが近くのコンビニで話を聞くとやはりこの辺りも相当降ったようだ。はたして明日はいったいどうなるのか？

8/11

5:00に起床し、会津方面に向かうが、塩原周辺の川は大増水していて沢屋なら誰もが大嫌いなカフェオレカラー！！まるでメコン川のようになっている。尾頭トンネルを越え会津に入っても状況は一緒だ。この状態では本流筋の御神楽沢の遡行はまず不可能だろう。ここで心を決めた。8/10夕方のちょったした天気のいたずらで3か月前から暖めていた計画はあっさり放棄せざるを得なくなった。あっけないものだ。会津高原尾瀬口駅で三岩岳方面縦走のため同乗していたＡ原さんを下ろして、頭の中の沢登りの引き出しをひっくり返して転進先を考える。天気が良くて面白そうで地図や情報が得られる場所・・・。結局、決めたのが宮城蔵王の沢、コガ沢と振子沢の日帰り2本立てだ。（後日、Ａ原さんの報告によると、三岩岳で入渓を断念して戻ってきたパーティーと遭遇したそうだ。それを聞いて、転進はよい判断だったということでホッとした。）

■写真上　最初に現れる5mナメ滝。
■写真中　権現沢手前の4m滝。
■写真下　権現沢を越えるとコガ沢の真骨頂！！滝と淵が連続して、美しい渓相が続く。

さて情報は仕事上の取引先で福島にある「登山用品専門店テクテク」のＨさんを訪ねて何とか集めることができた。

（話を聞かせていただいたりＰＣやコピーをお借りできて助かりました。有り難うございました。）

心配事が全てクリアになったので、あとは下道をゆっくり移動し、宮城蔵王にある秘密の場所にテントを張り焚き火を熾し宴会。いつもと同じ時間が流れ明日に備える。ここは宮城蔵王周辺の沢やハイキングなどでお金をかけずにベースになる格好の場所です。渓沿いで水が採れ，車が横付けできて焚き火もできる一等地です。正規のキャンプ場ではないので場所は伏せますが、この場所を知りたい方は直接私に連絡下さい。

8/12

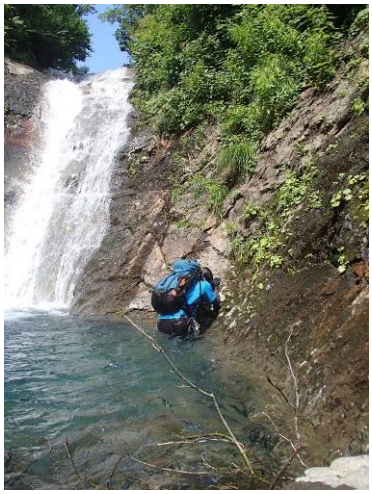
いろいろあったがやっと本番。今日は関東ではあまりメジャーではないが以前からネットの情報などで気になっていた宮城蔵王のコガ沢を目指す。4:00に起床して昨日残したキムチ入りのカレーの中に棒ラーメンを突っ込むという男らしい朝食を食し、入山地の白石スキー場へ。

6:25　誰もいない寂れたスキー場を出発。まずは水引入道へ向かう登山道を行く。30分ほどでコガ沢沿いの道となるが、ここで入渓せずにしばらく登山道を進む。しかし登山道は沢のかなり上部にあり、なかなか合流しそうもなく、そのまま権現沢出合いまで行ってしまうことに気づき、途中で強引に降りてコガ沢に入渓する。先程の沢沿いに降りた場所が正しい入渓点で多少時間をロスしたが準備して7:50出発。しばらくゴーロを行くと最初の5mナメ滝が現れる。記録の写真と比べて水がだいぶ多いことがわかる。ここは右壁を問題なく突破。しばらく平凡になるがところどころにある淵の水の色が透明感あるブルーで素晴らしい。やがて渓はゴルジュっぽくなり側壁は急な草付きで直登できない滝があると非常に厄介な渓相になるが、何とか沢筋を進めて俄然楽しくなってくる。権現沢手前の4m滝の左壁を直登すると権現沢出合いは十字峡のように両側壁から滝で出合っていてなかなか素晴らしい！！直ぐ上で登山道が両岸に鎖が付いていて渓を横断しているが、結構厳しい地形なのでよくこんな場所に道をつけたものだと思う。

■写真上　小滝と淵が連続、水の透明度と色が美しい！！
■写真中　ワンポイント泳いで取り付いた2条3m滝。最初の核心部だ。
■写真下　10mナメ滝と二つ目の核心部10m滝。コガ沢最高の絶景ポイント！！

さてコガ沢の真骨頂はここからだ。小滝と淵が連続して非常に楽しい。美しい淵をヘツったり小滝を登ったり・・・。最初の核心部は釜の深い3m2条滝。ここはロープを使用。足が立たない深い釜をワンポイント泳いで苦労して水中のスタンスを見つけて何とか突破。（ここは記録では胸まで浸かって突破と書いてあったのでやはり今日は水量が多いのだろう。）少しテクニカルで面白いところだ。そしてすぐに現れる4m直瀑を左壁から直登（ここも念のためロープ使用）すると素晴らしい光景が出現！！明るい草付きに10mナメ滝さらに上に傾斜の急な10m滝が続いている。絶景だ！！

10mナメ滝はヒタヒタと難なく登って傾斜の急な10m滝は再びロープを使用して右壁を直登。ここが2つ目の核心部だ。難しくはないが高さがあるので途中でハーケンを打ちたいところだがなかなか良いリスがなく何回か試みるが結局ハーケンは打てずにフリーで登ってしまった。上部に行くにつれしっかりつかめるホールドに恵まれ助かったができれば途中でハーケンを打てると安心して登ることができると思う。



その後も3～4mの滝と美しい青い釜が続く。それにしてもこの渓の水は透明度が高く、釜の色は本当に神秘的で美しい。小滝を2～3登ると再び大物8m滝が登場！！この渓3つ目にして最後の核心だ。ここも釜が深く左岸のきわどいヘツリで滝に取り付くがこのヘツリが難しい。何回かドボンした末、何とか成功して右壁を直登する。中間部が若干嫌らしかったがここはハーケンを2本決められたので平常心で安定してリードすることができた。ただほとんど泳げないＨ本さんが釜のヘツリで苦労してドボンした際、溺れそうになってヒヤッとさせる一瞬もあった。そんなこんなでこの滝を全員が突破するのに約1時間半を要した。

■写真上　最後の核心8m滝。
■写真中左　左岸の難しいヘツリから取り付く。
■写真中右　ハーケン2本打って直登中間部が嫌らしい。
■写真下　ガレ場の急な詰め。

さて、この滝を越えると雰囲気的には源流のようになるが稜線はまだはるか上だ。右岸に滝沢を分け、すぐに左岸から滝となって黒滝沢が出合う。この先の本流はなぜか急に岩が赤茶けて温泉成分でも入っているようだ。水が不味そうなので今のうちに清らかな流れの黒滝沢の水を汲むことにする。（滝沢は記録があり、この先も滝が連続していてなかなか面白そうだ。）急に小さくなった急傾斜の本流を詰めていく。やがて沢は薮っぽくなるが沢床はしっかりしているので藪漕ぎはそれほど煩わしくはない。さらに適度にガレ場がありそこでは傾斜は急だが藪の鬱陶しさから解放され、背後には水引入道が望め、涼しい風が吹くと気持ちが良い・・・とか書いておいてなんだが、実際、私とＨ本さんは

オーバーヒート気味、そよ風程度では気持ちはよくならない。ヒイヒイいいながら詰めていき最後はガレ場からハイマツをほんのひと漕ぎするとようやく稜線の登山道に合流した。遡行時間約6時間イヤー本当にもうゴチソウサン！！大充実です。

山形県側の景色が開け、明日行く予定の刈田岳や地蔵岳等の蔵王の主脈も望め、穏やかな花の縦走路、花の名前はあまりよくわからないが数多くの種類の花々が咲き誇っていて気持ち良い稜線だ。南屏風岳を越え不忘山に向かうがガスの切れ間から一瞬見える不忘山は鋭く尖ってなかなか格好が良い。不忘山からは一気に下るが足場が悪く滑りやすいので足を挫かないように気を付けてゆっくり降りた。終わってみれば17:00、何と行動時間10時間半！！頑張りました。

コガ沢は、関東ではあまり知られていませんが、釜と滝が連続して水の色が美しく変化に富んだ素晴らしい沢でした。核心部の中流域は草付きの側壁が続き、高巻きとなるとかなり不安定で悪いのでこの沢は水線越しの遡行がお奨めです。テクニカルな場所も2～3あるが極端に難しいところはないので、その突破に頭を悩ませるのがまた楽しい。グレード的には2級上位だろう。ただ狭いゴルジュもあって釜も深いので増水時は小さな沢の割に遡行は困難になると思われます。

■コースタイム

白石スキー場（6:25）～（7:30）入渓（7:50）～（8:02）最初の5mナメ滝～（8:54）権現沢出合～（9:19）釜を泳いだ3m2条滝（9:38）～（9:41）10mナメ+10mの絶景の滝（10:05）～（10:37）8m滝（11:50）～（12:02）黒滝沢出合～（14:00）稜線～（14:10）南屏風岳（14:34）～（15:04）不忘山～（17:00）白石スキー場

■写真上　稜線から望む穏やかな蔵王連峰。
■写真中上　南屏風岳山頂にて。
■写真中下　南屏風の稜線から望む不忘山は鋭鋒で格好が良い。
■写真下　行けなかった振子沢全景。

おまけ

8/13は振子沢遡行の予定で、入山口の賽の磧駐車場まで行くが何と、想定火口内と云われるお釜を中心としたエリアは火山活動の可能性により現在立ち入り禁止。振子沢は見事に全流域がこのエリアに入ってしまっていることがわかる。天気も良いし、絶好の沢日和だが、もしお釜の辺り

をうろついているのを見られたらおとがめは必至・・・本当に残念だが今回は諦めざるを得なかった。遊歩道を少し歩くと振子沢の魅力的な全景を見ることができた。これを見てますます規制が解除されたら晴れた夏の日にぜひ入渓してみたい沢になった。その時はどなたか付き合ってくださいね！！

■振子沢は入山禁止。
■振子沢の振子滝全景。いつか行ってみたい沢だ。